

みずほCustomer Desk Report 2025/01/07号(As of 2025/01/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	157.69
TKY 9:00AM	157.54	1.0303	162.34	GBP/USD	1.2424
SYD-NY High	157.95	1.0437	164.00	AUD/USD	0.6220
SYD-NY Low	156.25	1.0296	162.20		
NY 5:00 PM	157.63	1.0391	163.78		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,706.56	▲ 25.57	日本2年債	0.6310%	0.0260%
NASDAQ	19,864.98	243.30	日本10年債	1.1200%	0.0300%
S&P	5,975.38	32.91	米国2年債	4.2683%	▲0.0125%
日経平均	39,307.05	▲ 587.49	米国5年債	4.4207%	0.0053%
TOPIX	2,756.38	▲ 28.54	米国10年債	4.6229%	0.0224%
シカゴ日経先物	39,765.00	85.00	独10年債	2.4475%	0.0230%
ロンドンFT	8,249.66	25.68	英10年債	4.6090%	0.0175%
DAX	20,216.19	310.11	豪10年債	4.4620%	0.0700%
ハンセン指数	19,688.29	▲ 71.98	USDJPY 1M Vol	10.46%	0.00%
上海総合	3,206.92	▲ 4.51	USDJPY 3M Vol	10.53%	▲0.21%
NY金	2,647.40	▲ 7.30	USDJPY 6M Vol	10.44%	▲0.27%
WTI	73.56	▲ 0.40	USDJPY 1M 25RR	▲0.99%	Yen Call Over
CRB指数	298.93	2.16	EURJPY 3M Vol	10.63%	▲0.27%
ドルインデックス	108.26	▲ 0.69	EURJPY 6M Vol	10.56%	▲0.28%

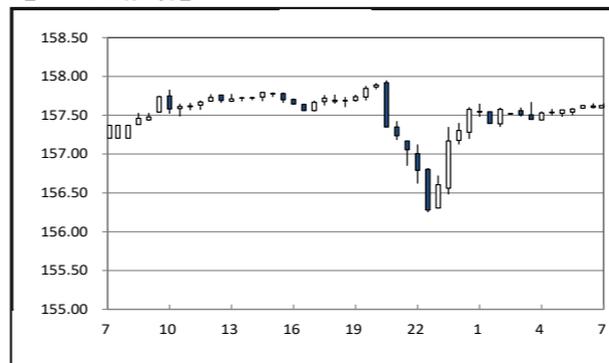
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月6日	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業	12月 52.2	51.4
	17:55	独 サービス業PMI・確報	12月 51.2	51.0
	18:00	欧 サービス業PMI・確報	12月 51.6	51.4
1月7日	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 0.4%/2.6%	0.3%/2.4%
	23:45	米 サービス業PMI・確報	12月 56.8	58.5
	00:00	米 製造業受注(前月比)	11月 -0.4%	-0.3%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	11月 0.2%	0.1%

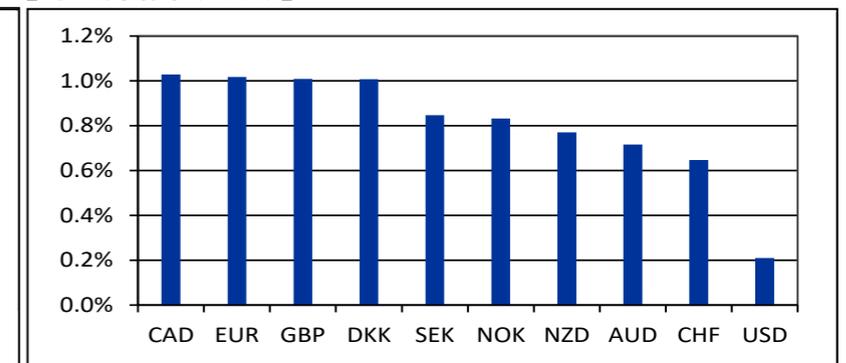
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月7日	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 0.3%/1.5%	-0.1%/1.3%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 0.4%/2.4%	-0.3%/2.2%
	19:00	欧 失業率	11月 6.3%	6.3%
1月8日	22:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$78.3b	-\$73.8b
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	12月 53.5	52.1
	00:00	米 JOLT求人	11月 7745K	7744K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.25-158.50	1.0325-1.0450	163.00-165.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は大幅な下げののち全戻し。米国時間にトランプ政権が関税の対象を重要な輸入品だけに絞ることを検討しているとワシントンポストが報道したことを受け、ドルが売られ一時156.25をつける。しかしその後トランプ氏が同報道を否定したことでドルが買い戻され、ドル円も157.50台まで復帰しそのまま157.63レベルでクローズ。本日のドル円は底堅い展開を見込む。本日は米国の貿易収支、ISM非製造業景況指数等の公表が予定されているが、今月下旬にトランプ氏の大統領就任を控え、強いドルと日米金利差による円安という基調的な流れを変えるほどの変化は起こらないものと予想する。

東京	157.54レベルで連休明け東京市場はスタート。朝方は本邦系から買いが入り、157.83まで上伸するも、仲値にかけてはむしろ売られる展開。その後は特段の材料なくレンジ内での値動きに終始。輸出企業からの動きはなく、やや買い地合いが続き、157.75レベルで欧州に渡った。
ロンドン	トランプ関税に関する報道でドルは全般的に売られた。ドル円は157.75レベルでオープン後、一部報道機関が複数の関係者の情報として「トランプ氏は重要な輸入品のみを対象とする『一律』関税を模索中」と報じたためドルのロングポジションの巻き戻しが入り156.62まで下落した。結局156.81レベルでニューヨークに渡った。ユーロドルは1.0309レベルでオープン後1.0432まで上昇したのち1.0412レベルでニューヨークに渡った。尚、12月のユーロ圏総合およびサービス部門PMIはそれぞれ49.6と51.6と市場予想を若干上回ったが市場への影響は殆ど無かった。ポンドドルは1.2440レベルでオープン後に1.2550まで上昇し、1.2536レベルでニューヨークへ渡った。12月の英総合・サービス部門PMIはそれぞれ50.4と51.1と市場予想の50.5、51.4を下回ったが市場の反応は薄であった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台後半でスタート。植田日銀総裁がイベントにて、1月の利上げを示唆する発言が特段見当たらないことから、海外時間にかけ157.95まで円が売られる。しかし、その後「トランプ次期大統領の関税政策の範囲が限定的になる可能性がある」との一部報道を受けたドル売りが強まり、一転軟調な推移となり、156.81レベルでNYオープン。オープン直後は156.25まで続落する場面もあったが、その後トランプ次期大統領が先述の関税案を巡る報道を否定した事を受け、買い戻しが優勢となり、157.60付近まで反発する神経質な値動き。午後は上昇していた米株が下げに転じた事がドル円の上値を抑え、157.60付近で上値重い推移が続き、157.63レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.02台後半でスタート。ユーロ圏1月センチックス投資家信頼感指数が市場予想程悪化しなかった事や、先述のトランプ次期大統領の関税案を巡る報道を背景に1.0430付近まで上伸し、その後1.0412レベルでNYオープン。午前中はトランプ次期大統領が関税案を巡る報道を否定した事を受け、ドルが買い戻される中、一時1.0353まで反落する。しかし、その後は独12月CPI(前月比)が予想を上回った事が受け、独金利の上昇と共に1.04台ちょうど付近まで戻す。午後は1.0390を中心とした動意乏しい推移が続き、1.0391レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。